

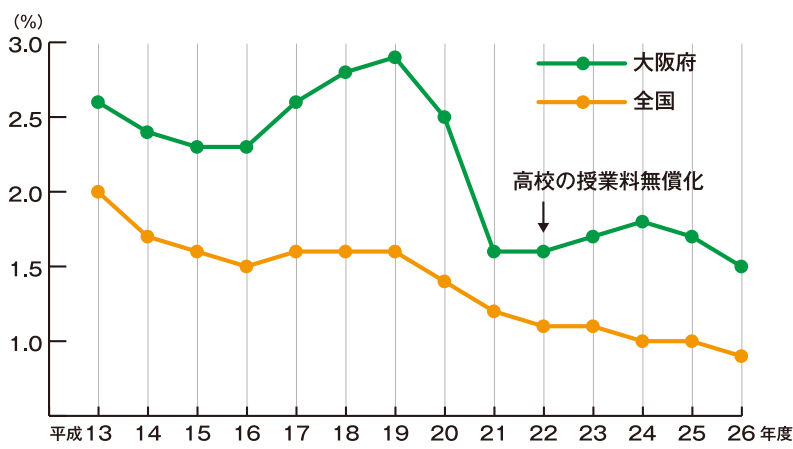


## 教育格差の解消こそ大阪の成長戦略

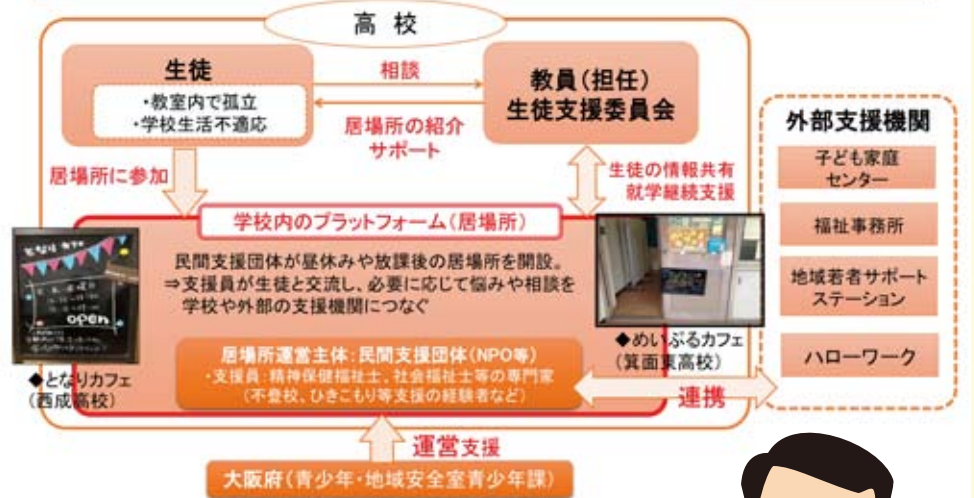
### 大阪は高校の中退も不登校も全国ワースト1

大阪府最大の教育課題である高校の中退率(下図)・不登校率の高さは今後最も尽力すべき課題の一つです。府教委が行う中退防止コーディネーターの配置とは別の角度から、学校生活不適應による中退・不登校を防ぐため、民間支援団体と学校が連携して、学校内に居場所を開設し、福祉や労働等の外部支援機関と連携・協力するためのプラットフォームを構築し生徒を支援する大阪独自の取り組みが効果を発揮し、注目を集めています。

府立高等学校(全日制の課程)の中途退学者率(%)の推移



高校内における居場所のプラットフォーム化事業(概要)



## 中退・不登校対策の拡充を一貫して訴え 実現!

これまで総務常任委員会において、平成25年度に3度、平成26年度にも2度にわたり、「高校内に居場所を提供し中退・不登校を未然に防ぐ」事業の重要性を取り上げ、更なる拡充を訴えてきました。結果、平成24年度1校から始まったこの事業が平成27年度には21校へと拡大しています。

【平成24年度の高校中退・フォローアップモデル事業(1校)、平成25、26年度の高校中退・フォローアップ事業(各年度8校)の取り組みを踏まえつつ、平成27年度は連携校を拡大(21校)】



### 実績

府営公園服部緑地で以前釣堀のあった若竹池に釣堀の桟橋が池の端にまとめて放置されていました。地域の方の要望を受け池田土木に要請し本年撤去して頂きました。



改善前



改善後

### 活動トピック



▲総務省の「霞が関ショールーム」を視察  
オフィス改革の一環として個人デスクを廃止し、チームテーブル環境を導入。徹底したペーパーレス化とテレワークの推進に取り組んでいます。



▲熊本市立動物愛護センターを視察  
犬猫の殺処分ゼロを実現。高齢や病気などで引き取りを希望する飼い主への説得を強化。毎週譲渡会を開き新たな飼い主には事前に講習会を実施。責任を持って飼育する指導を強化しています。



▲ティーチフォージャパンを訪問  
松田代表と懇談。大阪への教師派遣について協議。塾など学校外での教育支援ではなく、学校現場に約200時間・独自の研修を受けた教員を派遣し、子ども達の学力向上を目指している。



▲国土交通省観光局より今後のインバウンド施策を聴取。民泊サービスのあり方に関する検討会での方向性や宿泊需給の状況について伺う。